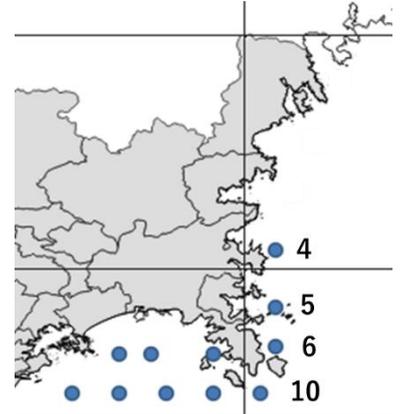


令和元年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.2)

令和元年 6月5日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和元年 6月3日～4日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で12.3～16.6℃の範囲にあった。



- 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.)
出現数は、10～20細胞数/Lでした。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン (*Dinophysis acuminata*) は、
60～3,030細胞数/L、*D. fortii*は20～890細胞数/L確認されました。

調査地点図

調査結果表 (4 定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (℃)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)						
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属
						6月3日～4日	5月9日	6月3日～4日	5月9日	6月3日～4日	5月9日	
4	11:35 84.0	0	10.0	14.6	33.6	20	30	20	90	60	110	0
		10		13.5								
		20		12.1								
		30		11.1								
40	10.3											
5	10:54 31.0	0	9.0	15.6	33.6	10	130	220	250	130	10	0
		10		11.4								
		20		10.5								
		30		10.2								
6	10:20 65.0	0	11.0	12.3	33.6	20	70	860	160	590	30	10
		10		12.1								
		20		10.5								
		30		10.3								
40	10.1											
10	11:17 83.0	0	6.0	16.6	33.0	10	150	890	190	3,030	790	0
		10		13.8								
		20		10.8								
		30		10.2								
40	9.8											

※貝毒プランクトンサンプルは0～20m層における柱状採水